



南国市の将来像は決めるのは、あなたです。

まず、基礎体力づくり

潜在的成長力を生かして

手づくりの総合計画

という批判はありましたね。

Aさん——「手づくりの総合計画」をつくることで大変

行政計画は、どうしても絶大な

ご苦労をかけたきました。い

的になりがちですから……。

よいよ大詰めになってきました。

Cさん——本当は、この十

おぼろげながらに見えてきま

年間でやりきる内容にしほり

したね。

込むことが大切ですが……。

Bさん——時間はかかりま

基礎整備をして「基礎体力

したが「コンサルタントにお

をつけるということには、市

まかせ」でなく、苦勞した分

いでしようか。また、そう

だけ実施に生かされるのでは

してほしい。

ないでしょうか。また、そう

Cさん——これまでは、計

画をつくるのが目的という

空の要（かなめ）にあり、潜

感じて、誤解されていたこ

ら、これを生かして実践して

ろがありますね。

はくというのが南国市の一番

Aさん——それはきつにお

の課題だと思えますね。

言葉ですが「絵に描いたモチ

Cさん——今まで、市役所

内での行政計画策定委員会
市民、特に若者を口とした
ワーキングチーム、少人数で
のふれあいトーク、自由に提

地方と地方の競争

「日本の南国市」を主張

Bさん——南国市だけで交

流人口を考えるとわけにはいき

ませんので、やはり広域行政

が課題になってきますね。ま

ちづくりも、一市町村ですべ

ての機能を整備する時代では

ありませんから、なんごく、

こうち地方拠点都市づくりの

ように、それぞれの市町村の

個性と特性を生かして役割分

担をしながら「個々が光り、

全体が輝く」という共存共栄

も大切ですね。

若者をターゲットに

Aさん——一方で、南国市

の個性も大切です。地方と

地方が競争する時代ですから、

南国市でなければできないこと

を主張しています。

い意味を持ってきます。

言っていたくアイデアが

ストなどでいろんな人たちの

意見を聞いてきました。もち

ろん、市議会での議論や、一

般市民二十六人による振興計

画審議会など公的機関でも提

言されてきました。最終的に

は振興計画審議会の答申が重

い意味を持ってきます。

【企画編集】

土佐のまほろば 南国 公認 不構想

南国市のまちづくりを考える……



特集

南国市の現状と課題

■現状と課題

▶人口動態は減少から増加に
転じていますが、少子少産若
年層の転出が顕著▶農業の高
齢化、後継者不足、商工業も
経済不況で深刻な状況▶高齢
化が増々進行▶基礎学力、体
力の低下、いじめ問題、生涯
学習の課題▶都市的機能の整
備、交通体系の整備が必要

■個性と特性

▶人も自然も「あったか南
国」青い空、青い海、緑の山
野▶時代を先駆けする精神風
土▶歴史の宝庫、土佐のまほ
ろば▶陸・海・空の交通の要
▶全国に誇りうる個性的産業
▶歴史あるユニークな観光資
源▶明日の人材を育てる学園
都市などの特性があります。

■時代の背景

▶国際化▶高感情系化▶広域
高速交通化▶高齢化▶人口の
減少▶女性の社会参画▶健康
や生きがい指向▶新全国総合
開発計画・県総合計画▶地方
新時代▶ボランティア新時代
などの背景があります。

■まとめ

将来像を考えると、身近な
生活や地域のことから市全
体、そして全国的な背景や大
きくは地球規模での発想が求
められます。「発想は大胆に、
計画は周到に」を基本に、計
画に取り組んでいます。

● 今回の特集は、土佐のまほろば・ルネサンス構想
の概要を「PART1」皆さんと共に考えてみたいと思いま
す。

● 二〇〇五年（平成十七年）をめざした「南国市総合計
画」の策定が、大詰めを迎えています。
三年先が見通せない大変な時代……ですが、南国市
の将来像だけは、しっかりとつかんでおきたいものです。

● 南国市だからこそできること
を全国にアピールしていく、
「日本の南国市」の感覚も忘
れてはなりません。南国市
の個性を全国に情報発信して
いくこと、南国市のイメージ
をアピールしていくことが大
切になってきます。

新たな発想で修正

建設的な提言を

Cさん——「日本一お年寄りが
幸せな福祉のまち」という提
案もありました。一方で「若
者をターゲットにしたまち」の
提案も、学園都市であるとい
う市の特性から、若者のまち、
人材育成が前面に出ること
になりましたが、もちろん、高
齢化社会にむけての保健、医
療、福祉の充実はないがしろに
はできません。大きな課題で
すね。

Bさん——「若者」は、若者
文化、マルチメディア」とい
う部分が少し弱いのではない
かという感じがするね。若者
のまちづくりは全国どこでも
計画にも出てくることで特に
南国市が若者をターゲットに
できません。大きな課題で
すね。

Cさん——総合計画は、作
ったから十年間は変えませ
ん——というスタンスではなく、
新たな発想や、時代の要請に
応じてローリングすることに
していいです。一年一考という
言葉がありますが、今は時代

の流れも早く、十年間も当初
の計画に固執していると取り
残されてしまいますよ。

Bさん——「広報なんごく」
では、毎月「ルネサンス構想」
を掲載して、市民に情報提供
してきました。どしどしアイ

するならば、あっと驚くよう
なアイデアが必要になるの
では。文化も、従来の狭い意
味の文化ではなく、日常的な
文化感覚がほしいですね。

Aさん——マルチメディアは、
わかるようになってよくわか
りませぬ。二〇一〇年には各
家庭が光ファイバーで結ばれ、
双方の情報交換ができる。そ
れでは、南国市はどうしたら
いいの。熟年層の私たちに
は想像がつかないですよ。

アイデアポストにご意見を投函
してほしいですね。

Aさん——十年というスパン
は現代では大変短くなりま
した。大型プロジェクトは十
年はかかります。また、箱も
の（公共の建物など）や道路
などハード事業だけでなく、
人材育成や教育なソフト事
業は、結果がすぐ出るとい
うわけではありませんから、
目標にむかって息長く汗をか
くということが大切です。そ
れも「すべて市役所におま
かせ」ではいけなくなりました。
阪神大震災や高齢化社会に見
られるように、自立した市民
社会が求められています。

Cさん——市民の皆さんの
まちづくりに対するアイディ
アや、建設的な提言をお待ち
しています。一緒に考えてい
きましょう。

【企画編集】

【企画編集】

【企画編集】

【企画編集】

【企画編集】

【企画編集】

【企画編集】

【企画編集】

【企画編集】

【企画編集】

【企画編集】

【企画編集】

土佐のまほろば 南国市 構想

元気・やる気・本気のまちづくり

南国市

人が輝き まちが煌めく



まちづくりの将来像

人が輝く 夢ロマン人間都市

- ▶まちづくりは人づくり 主役となる人を育てる
- ▶郷土を愛し、誇りと自信のもてるまちづくり
- ▶自立した市民と行政によるまちづくり
- ▶キラリと輝くあったか人間都市づくり

心が安らぐ 健康文化都市

- ▶「もの」から「こころ」への価値観の変化
- ▶人と人、人と自然、人と社会の交流
- ▶心身ともにすこぶる健康なまちづくり

まちが煌めく 産業元気都市

- ▶職・住・遊・学の総合的なまちづくり
- ▶陸・海・空の潜在的可能性を生かした基盤整備
- ▶魅力とにぎわいのある産業元気都市づくり

基本目標



基本計画(主要な施策)



総合計画(素案)

副県都・南国市をめざして.....



解説 基本構想では、南国市の将来像を「人が輝き、まちが煌めく副県都・南国市」の建設をめざすこととしています。そして、大きく分けて三つの将来像を想定しています。キーワードは、人・心・まほろばです。

まず「まちづくりは人づくり」の基本理念に基づいて、南国市の明日を担っていく人材を育てること、市民自らがまち意識を持って主体的に参加する土壌をつくっていくことです。同時に、高齢化

社会にむけて心身ともに健康で、生きがいのある人生を送ることのできるような保健医療・福祉の充実、うるおいのあるライフステージとしての芸術・文化、スポーツのまちづくりです。三つ目になんといっても元気で働き、快適な生活のできる「基盤整備」が大切です。若者定住の切り札でもあるにぎわいのある産業元気都市づくりが求められています。そして、十大基本目標を掲げて行政と市民が一体となって進めていく構想となっています。